

1 単元名 対話のしかたを学ぼう**2 学習材名 「山小屋で三日間すごすなら」****3 単元について**

本学級の児童は、3学年『もっと知りたい、友だちのこと』の単元で、話を聞いて質問することで分かることが増えることを知り、相手の話を聞いて、質問することができるようになってきた。これを本単元においては、自分の意見を話したり、質問をしたりする話し合いで考えを広げることや、お互いに出した意見を目的に応じてまとめることに繋げていく。話し合いを進めるためには、まず自分の考えをもち、考えを出し合うことに備える必要がある。しかし対象児童は、自ら考えを膨らませたり、自分の考えを言葉で表現したりすることに苦手さがある。そこで、導入（1時目）で、教科書の挿絵を見て気付いたことを出し合ったり、野外活動で使用する道具のイラストを見せて、イメージを膨らませたりする時間を設けたい。

また、本単元では、山小屋で三日間過ごすという場面を想定し、友達と二人で何を持っていくかについて、考えを広げる話し合いと考えをまとめる話し合いの両方を経験させる。そして、その経験を通して、話し合いの技能を身に付けさせることを目的として設定されたものである。目的に応じた話し合いの進め方や、出された互いの意見を尊重しながら、友達との意見をまとめる方法を知り、今後の学習活動や日常生活の場面で生かせるようにしていく。

本単元に関わる指導事項は、話すこと・聞くこと「オ 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。」である。

指導にあたっては以下の2点に留意する。

手立て1に関わって

- ・山小屋とはどんなところかイメージできるように、写真や絵を示したり、実際の経験と関連付けたりして、学習のゴールを共有する。
- ・単位時間の課題に沿って振り返りができるように観点を示す。

手立て2に関わって

- ・挿絵、「自然と触れ合う活動」、「持っていくもの」、「自分の考え」などをカードに書いておくことで、話し合いの際に、目で見て確認したり実際に操作したりできるようにする。

国語科における児童の実態は以下のとおりである。（国語における個の状況）

	国語科における実態	個に応じた支援
3年男	<ul style="list-style-type: none"> ・音読は自分から進んで取り組むことができる。 ・集団の中で話を聞くことはできるが、自分の考えを話すことは苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵と文字を対応させ、イメージしやすくする。 ・話や説明はゆっくり短くする。 ・話型やヒントを示し、考えを引き出しやすくする。
5年男	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意志を言葉や動作で表現することが難しく、小声になる。 ・ゆっくりではあるが、単語としてのまとまりを意識しながら音読することができる。 ・友達の言った言葉は理解できるが、相手の意図を把握することはできない。 ・国語は、3学年の内容を学習している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・つぶやきなど小さい声でも拾い上げ、「伝わった」という安心感をもたせる。 ・内容によっては、実演するなどして理解したかどうか具体的な動作を見せる。 ・選択肢を与え、自己決定させる。 ・話型やヒントを示し、発表しやすくする。

4 単元の目標

- 比較や分類のしかたを理解し使うことができる。 [知] (2)イ
- 目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。 [思] A(1)オ
- 目的を意識して、集めた材料を比較したり分類したりすることができる。 [思] A(1)ア
- 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①比較や分類のしかたを理解し使っている。 (2)イ	①「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、集めた材料を比較したり分類したりしている。 A(1)ア ②「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。 A(1)オ	①互いの意見の共通点や相違点に着目し、積極的に思いや考えを伝え合い、話し合おうとしている。

6 単元の指導計画（全3時間扱い）

時	学習活動	◆研究に係わる手立て ・指導上の留意点	評価【 】〔方法〕		
1	<p>・学習の見通しをもち、学習のめあてを確かめる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>〈条件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場 所 ・持ち物 ・期 間 </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>〈目的〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふだん子どもだけではできないことをする。 ・自然とふれ合う。 </td> </tr> </table>	<p>〈条件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場 所 ・持ち物 ・期 間 	<p>〈目的〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふだん子どもだけではできないことをする。 ・自然とふれ合う。 	<p>・山小屋についてイメージを膨らませることができるようにする。</p> <p>◆写真や挿絵などを提示したり、体験と関連付けたりして、意欲を引き出し話題に対する理解を深め、学習のゴールを共有する。（手立て1）</p> <p>・目的や条件を示し、話し合いで大事にすることを押える。</p>	
<p>〈条件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場 所 ・持ち物 ・期 間 	<p>〈目的〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふだん子どもだけではできないことをする。 ・自然とふれ合う。 				
	<p>山小屋に行って二人でしたいことや、もっていくものをきめよう。</p>				
	<p>・考えを広げる話し合いをする。山小屋でしたいことをカードに書き出す。</p>	<p>◆写真や挿絵からイメージを膨らませ、山小屋でしたいことをカードに書かせる。（手立て2）</p>	<p>【知①】比較や分類の仕方を理解し、使っているか確認する。〔発言・観察〕</p>		
2	<p>・考えを広げる話し合いをする。山小屋に持っていくものを考え、カードに書き出し、自分の考えを相手に伝え合う。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;"> <p>【話型】</p> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p>ぼくは、〇〇を持って行きたいです。なぜなら、△△で□□したいからです。</p> </td> </tr> </table>	<p>【話型】</p>	<p>ぼくは、〇〇を持って行きたいです。なぜなら、△△で□□したいからです。</p>	<p>・したい遊びにはどんなものがあつて、考えてカードに記入させる。</p> <p>・話型を準備し、理由をつけて伝えることができるようにする。</p>	
<p>【話型】</p>					
<p>ぼくは、〇〇を持って行きたいです。なぜなら、△△で□□したいからです。</p>					
	<p>・カードの仲間分けを行い、共通点、相違点を出し合う。</p>	<p>◆観点を与え、カードを使って仲間分けできるようにする。（手立て2）</p> <p>・挿絵や写真をヒントにカードの仲間分けができるようにする。</p>	<p>【思①】目的を意識して、集めた材料を比較したり分類したりしているか確認する。〔発言・観察〕</p>		
3 本 時	<p>・考えをまとめる話し合いをする。山小屋でやりたいこと そのため必要な持ち物</p>	<p>◆前時までに作成したカードを黒板に提示し、児童が操作しながら考えをまとめていく手がかりにできるようにする。（手立て2）</p> <p>・多くのことに使える物を考える等、具体的な視点を与える。</p>	<p>【思②】話し合いの目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめているか確認する。〔発言・観察〕</p> <p>【主①】互いの意見の共通点や相違点に着目し、積極的に思いや考えを伝え合い、話し合おうとしている。〔発言・観察〕</p>		
	<p>・決まったことを確認し、学習を振り返る。</p>	<p>◆振り返りの観点を示し、学習の深まりを実感できるようにする。（手立て1）</p>			

7 本時の指導

(1) 目標

話し合いの目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめることができる。

(2) 本時の評価規準

話し合いの目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめている。

具体的な子どもの姿	Bに至らせるための支援
・互いの意見の共通点や相違点に気付き、意見を認め合いながら、「自然と触れ合う活動」や「持っていきたいもの」を決めている。	・活動や持っていくものを決めるための基準となる具体的な視点を提示する。 ・黒板上でカードを操作させることにより、視覚的に思考を整理し、考えをまとめる手掛かりにする。

(3) 展開

段階	・学習活動 ・児童の反応 〈目的〉>児童と共有する対話的活動の目的	◆研究に係わる手立て	・指導上の留意点【評価】[評価方法]
		3年	5年
導入 3分	1 前時までの学習を想起する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">二人でしたいことをきめて、持っていくものをえらぼう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> 学習計画の掲示から、本時の学習内容や学習のゴールを意識させる。
	2 本時の学習課題を捉える。		
展開 30分	3 考えをまとめる話し合いの仕方を確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【考えをまとめる話し合いの仕方】 ① 山小屋でしたいこと（3つ）を決める。 ② そのために必要な持ち物（5つ）を決める。 ③ まとまったことを確認する。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 黒板に、活動枠（3）、持ち物枠（5）を掲示して話し合いを通して埋めていくことをイメージできるようにする。 挿絵を提示し、山小屋の周囲の環境や動植物等を一緒に見て活動や必要な持ち物を確認できるようにする。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◆作成したカードを黒板に提示し、児童が操作しながら考えをまとめていく手がかりにできるようにする。（手立て2） </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px; display: inline-block;"> 持ち物などのイラストを掲示し、考えたり話したりする際に活用できるようにする。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px; display: inline-block;"> 児童のつぶやきを拾って紹介し、考えを広げる。挿絵や校外学習の経験もヒントになることを伝える。 </div>
	4 考えをまとめる話し合いをする。 〈目的〉>まとめる A：ぼくは〇〇を持って行きたいけど、Bさんはどう思いますか。 B：ぼくも賛成です。〇〇は△△にも使えると思います。 B：ぼくは〇〇を持って行きたいけど、Aさんはどう思いますか。 A：〇〇はなくていいと思うけど、なぜそれが欲しいのですか？ B：それは～だからです。	<ul style="list-style-type: none"> まず、したいことについて考えをまとめさせ、そのために必要な持ち物について話し合わせる。 「どちらの遊びにも必要な物」や「なくては困るもの」など具体的な視点を与え、選択させる。 	
	5 話し合いでまとまった考えを確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【思②】話し合いの目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめているか。[発言・観察] </div>	
終末 7分	6 学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ◆振り返りの観点を示し、学習の深まりを実感できるようにする。（手立て1） 振り返りの観点を与え、自己評価させる。 友達のよかった点、頑張った点を発表させる。 積極的に話し合いを行っていたことを称賛する。 	

〔期待する振り返りの例〕

- ・〇〇さんと違う意見もあったけど、二人で話し合っただけで決めることができました。
- ・持っていきたいものについて、理由を付けて言うことができました。
- ・〇〇さんが、△△をもっていくといいよと言った意見が良かったです。

(4) 板書計画

